

NotebookLM概要説明書

この資料は、NotebookLMについて概要を説明します。

調べるのが楽になる話題のAIツールを紹介します。

NotebookLMは、資料の整理やレポート作成に非常に便利で、情報を理解するためのツールです。

NotebookLM概要説明の動画は以下のURLから視聴できます。

[NotebookLM概要説明動画](#)

説明はこのアジェンダに沿っておこないます。

NotebookLMとは？

調べるのが劇的に楽になる"NotebookLM"

話題のAIツール「NotebookLM」を紹介

資料の整理やレポート作成に非常に便利

情報を理解するためのツール

アジェンダ

NotebookLMとは何か？

NotebookLMでできること（主な機能）

一般的なAIチャットとの違い

利用方法・活用シーン

具体的な活用例

利用上の注意点

まとめ

NotebookLMとは何か？

- Googleが提供するAIリサーチアシスタント
- 「AIノート」と呼ばれることもあります。Notionのようなエディタではなく、自分の代わりに資料を整理してくれるアシスタント的な存在
- 資料を読み込んで頭に入っていない、大量の素材をまとめるのが大変といったシーンで活躍



Googleが提供するAIリサーチアシスタントです。

「AIノート」と呼ばれることもあります。Notionのようなエディタではなく、自分の代わりに資料を整理してくれるアシスタント的な存在です。

資料を読み込んで頭に入っていない、大量の素材をまとめるのが大変、といったシーンで活躍します。

NotebookLMでできること（主な機能）

資料の理解

プロジェクト資料、プレゼン録音、参考文献など、関連資料を多数登録し、横断的に要約したり内容について質問したりできる

思考の整理

バラバラの資料を分類、関連付け、系統立てて整理することで、分かりやすく再構築するのに役立つ

アイデア創出

アイデアレベルのメモ、市場調査結果、競合資料などを登録することで、新しい見方、考え方、見逃しがちな視点などを発見できる

リサーチ機能

Googleの検索エンジンを使ってWeb上から資料を探せるようになりました

資料の理解に役立ちます。プロジェクト資料、プレゼン録音、参考論文など、関連資料を多数登録し、横断的に要約したり内容について質問することができます。

思考の整理 に役立ちます。バラバラの資料を分類、関連付け、系統立てて整理することで、分かりやすく再構築するのに役立ちます。

新しいアイデア創出を手助けします。アイデアレベルのメモ、市場調査結果、競合資料などを登録することで、新しい見方、考え方、見逃しがちな視点などを発見できます。

リサーチ機能、以前は元情報を手動で登録する必要がありましたが、現在はGoogleの検索エンジンを使ってWeb上から資料を自動で探せるようになりました。

一般的なAIチャットとの違い

一般的なAIチャット (Gemini, ChatGPTなど)

基本的に学習済み知識やWeb検索情報をもとに回答
学習していない情報について、間違った回答をする可能性があります

NotebookLM

あらかじめ回答の元になる情報をソースとして登録する
RAG または CAGと呼ばれる方式の一種
与えられたソースの内容を知識として利用し、ハルシネーション
(AIによるでたらめな情報) が紛れ込む可能性が低い

RAG: Retrieval-Augmented Generation, CAG: Cache-Augmented Generation

一般的なAIチャットでは、基本的に学習済み知識やWeb検索情報をもとに回答するので、学習していない情報について、間違った回答をする可能性があります。

例として、社内プロジェクト、特定の企業の非公開情報などで

す。
NotebookLMは、あらかじめ回答の元になる情報をソースとして登録します。

RAG (Retrieval-Augmented Generation) または CAG (Cache-Augmented Generation) と呼ばれる方式の一種です。

与えられたソースの内容を知識として利用し、その文脈に基づいて回答を生成します。

ソースに記述されていない情報は記載しません。 このため、ハルシネーション (AIによるでたらめな情報) が紛れ込む可能性が低くなっています。

NotebookLMを、始めて使用方法を説明します。

ブラウザのアドレスバーに、notebooklm.google.comを、入力します。

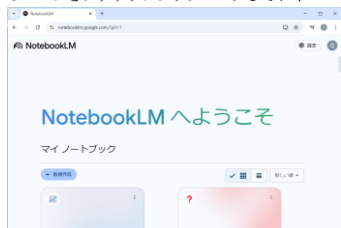
ブラウザのアドレスバーにnotebooklm.google.comを入力



初めてNotebookLMの使用にはGoogleアカウントでログインが必要
Googleアカウントを取得していない場合はGoogleアカウントを作成



ログインが完了するとNotebookLMが使用可能になる
このページをブラウザにブックマークしておく



利用方法ーソースの種類

ファイルやウェブサイトをソースとして登録可能
テキスト、PDF、音声、Googleドキュメント/スライド、
Webページ、YouTubeリンクなど

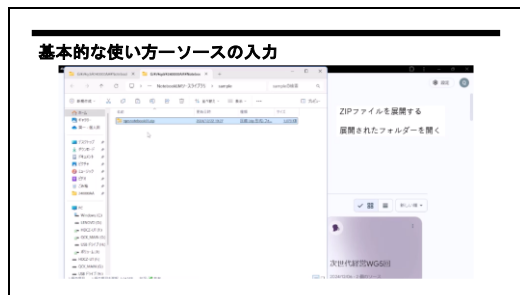
音声ファイルの自動文字起こし
音声ファイルは自動的に文字起こしされ、テキストとして登録される

Googleドキュメント/スライドの同期機能
同期機能で内容を更新できる

ソースの種類は、ファイルやウェブサイトをソースとして登録可能です。

テキスト、PDF、音声、Googleドキュメント/スライド、Webページ、YouTubeリンクなどです。

音声ファイルは自動的に文字起こしされ、テキストとして登録されます。Googleドキュメント/スライドは同期機能で内容を更新できます。



ダウンロードしたZIPファイルを展開します。

展開されたフォルダーを開きます。

NotebookLMを開きます。新規作成をクリックします。

ソースをアップロードが表示されます。

展開されたフォルダの全てのファイルを選択してNotebookLMのソースに貼り付けます。

貼り付けられたファイルがすべて読み込まれます。

ソース入力されたらNotebookLMの名称を適当な名称に書き換えます。試しに適当な質問をして確認をします。

ブリーフィングによりソースに関する簡潔な説明が表示されます。



学習ガイドは、ソースに関するstudy guideとしてクイズと解答キーとエッセイ形式の質問を示し用語集も示されます。



タイムラインは、時系列に情報を示すのと、登場人物の役割に焦点を当てて示します。



よくある質問はソースを理解しやすくする質問とその回答を示します。





マインドマップは、ソース内の情報の階層をマインドマップ形式で表示します。

右向きアイコンをクリックすると、より具体的な情報に展開された情報が示されます。

マインドマップの要素をクリックすると、その要素について詳しい解説がチャットに表示されます。



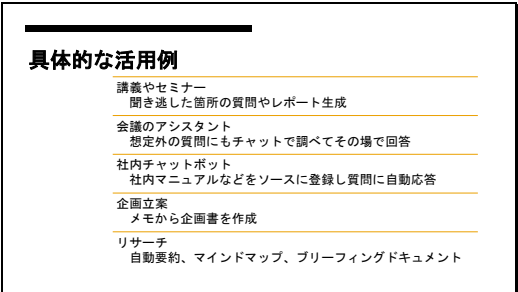
メモを追加は、チャットの入力欄にプロンプトを入力してソース情報に関連したチャットを行った結果をメモに保存することができます。



音声概要は、ソースの情報を整理した概要について男女二名のナレーターが

会話形式でわかりやすく解説する音声生成され聴くことができます。

生成された音声は、ワブ形式の音声ファイルとしてダウンロードができます。



講義やセミナー、録音やレジュメをソースに、聞き逃した箇所の質問やレポート生成をします。

会議のアシスタント、会議資料を読み込ませておけば、想定外の質問にもチャットで調べてその場で回答できます（“あんちょこ”として利用）。

社内チャットボット、社内マニュアルなどをソースに登録し、よく質問される内容に自動応答します。

企画立案、メモから企画書を作成、新規事業アイデアなど、ベースとなる情報を登録します。

テンプレート形式に従ってアイデアをまとめ直します（ソースにない情報は「言及できません」となる）。

リサーチ、自動要約付きブックマークとして活用します。

音声データのマインドマップ化で情報の繋がりを整理、複数の資料をまとめてブリーフィングドキュメントを生成、QA集やタイムライン作成も可能です。

利用上の注意点

ソースのサイズに制限

1ファイルあたり認識できる文章量：50万語まで
サイズ：200MBまで
無料版では登録できるソース数：50個まで

回答を間違える可能性

古い情報と新しい情報の混在で間違った回答の可能性
大量にソースを登録するより、ソース量を最小限に
ピンポイントで回答できるようにする

セキュリティ

登録されたソースは学習には使用されない
外部のクラウドサービスとなるため機密性の高い情報を
ソースとして利用するのは避けた方がよい
[NotebookLMでデータを保護する仕組み](#)を参照

まとめ

NotebookLMは、資料の理解、思考の整理、アイデア創出、リサーチを
AIの力を借りて効率化できるツール

登録したソースに基づいて回答を生成する点に特徴があり、一般的な
AIチャットと比較してハルシネーションが起こりにくい利点がある

調べ物、会議準備、企画作成など、様々なシーンで活用できる

利用上の制限や注意点（サイズ制限、セキュリティ）はあるが作業を
手伝ってくれる身近なアシスタントとしてぜひ活用を

利用上の注意点としてソースのサイズ制限がフリー版において
は一ファイルあたり認識できる文章量は50万語まで、

サイズは200メガバイトまで、ソース数は50個までです。

回答を間違える可能性として古い情報と新しい情報の混在で間
違った回答の可能性があります。

大量にソース登録するよりソース量を最小限にピンポイントで
回答できるようにすると良いでしょう。

セキュリティに関しては登録されたソースはNotebookLMの学
習に使用されません。

外部のクラウドサービスとなるために機密性の高い情報をソー
スとして利用するのは避けた方が良いでしょう。

[NotebookLM でデータを保護する仕組み](#) を参照して下さい。

まとめとして、NotebookLMは、資料の理解、思考の整理、ア
イデア創出、リサーチをAIの力を借りて効率化できるツールで
す。

登録したソースに基づいて回答を生成する点に特徴があり、一
般的なAIチャットと比較してハルシネーションが起こりにくい
利点があります。

調べ物、会議準備、企画作成など、様々なシーンで活用できま
す。

利用上の制限や注意点（サイズ制限、セキュリティ）はありま
すが作業を手伝ってくれる身近なアシスタントとしてぜひ活用
して下さい。